



学校だより

深谷

令和8年4月7日

4月号

横浜市立深谷小学校

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fukaya>

「あ・い・う・え・お・か+き」を合言葉に

校長 杉田 仁

新しく芽吹き始めた草花と共に、新年度がスタートしました。進級した喜び、新たな学びへの期待を胸に、子どもたちは希望に満ちた表情で登校してきました。

保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。本日、1年生34名を新たに迎え、全児童226名で令和8年度がスタートしました。今年度も引き続き、深谷小学校長を務めます 杉田 仁（すぎた じん）です。どうぞよろしく願いいたします。

本校の学校教育目標は、今年度も「自ら学び 伝え つながる深谷っ子」を掲げていきます。この学校教育目標を達成するためには、深谷小学校に通う全ての子どもたちが「明日も学校に行きたいな」と思えるような学校を、保護者の皆様、地域の皆様と共に、子どもたちと全職員で築いていくことが大切だと思っています。

前述の学校教育目標や、「明日も学校に行きたいな」と思える学校づくりのために、大事にしたいと私が考えている言葉として、昨年度「**あ**いさつ・**い**のち・**う**んどう・**え**がお・**お**もいやり・**か**んしゃ」の話をしてきました。そして、「あ・い・う・え・お+か」という合言葉で子どもたちに覚えてもらいました。継続して話をしたことで、浸透していると感じています。そして、今年度はさらに「あ・い・う・え・お・か」に「き」の「**き**ょうりよく」を加えていきたいと思っています。

協力とは、ただ一緒に作業をすることではありません。相手の考えを聴き、自分の意見を伝え、違いを認め合いながら、よりよい方法を探していくことだと考えています。クラスでの学習や行事、日常生活の中には、友達と力を合わせる場面がたくさんあります。その一つひとつの経験が、思いやりや責任感、社会性を育てていきます。協力がうまくいかないときもあります。しかし、そこで投げ出さず、どうすればよかったのかを共に考え、次につなげることが大切です。教職員は子どもたちが安心して意見を出し合える環境を整え、一人ひとりの頑張りを認めながら支えています。

地域と共に子どもたちを育てきた深谷小学校の良さをこれからも大切にしながら、「あ・い・う・え・お・か+き」を意識し、子どもや保護者・地域の皆様から愛され、子どもたちの笑顔があふれる学校づくりを進めていきたいと考えています。

学校教育は、学校だけで成り立つものではありません。保護者・地域の皆様のご協力があるからこそ、子どもたちは豊かな学びを得ることができます。保護者・地域の皆様は、学校にとって最も心強いパートナーです。今年度も保護者・地域の皆様と手を取り合いながら、子どもたちの成長を支える学校づくりを進めてまいります。

そして、子どもたちを共に見守り、成長の喜びを分かち合っていきたいと考えています。子どもたちが人とのつながりの中で学び、助け合いながら成長していけるよう、皆様のご理解とご支援を心よりお願いいたします。